



進取

令和3年10月29日発行

阿久根市立阿久根小学校
27学級 児童数438名

時代とともに変わる子育て 2 ～ ネットとの付き合い方 ～

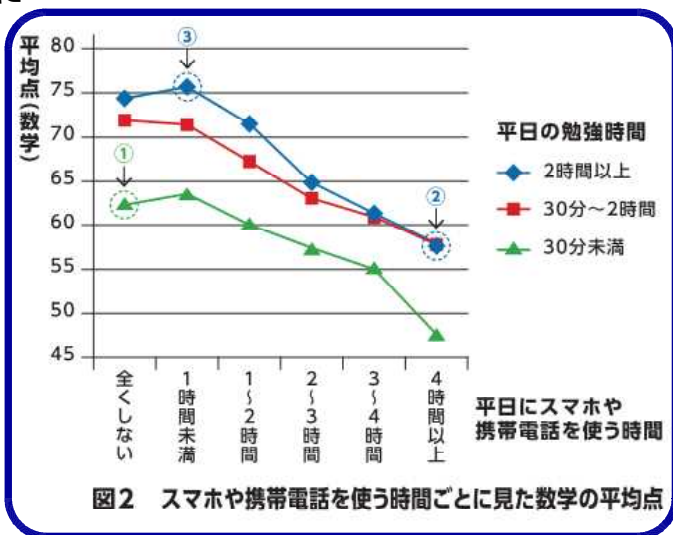
朝晩が涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。子供たちも落ち着いて考えることができるので、読書をして考える力を付けるには最適です。

さて、今回の「時代とともに変わる子育て」は、インターネットに関する内容です。皆さんは、「デジタルネイティブ」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。今の子供たちは、生まれた頃からパソコンやスマートフォン、インターネットが普及して、その中で育っています。そんな子供たちの世代をデジタルネイティブと呼ぶそうです。インターネットによって、私たちの生活は大きく変わりました。そんな中で育っていく子供たちの子育ても変わっていかねばなりません。学校でも、GIGAスクールと呼ばれるタブレットを使った授業が始まりました。家庭では、どのようにネットとつき合っていけば良いのでしょうか。



6年生のタブレットを使った授業

右の表は2014年に仙台市教育委員会が、中学生に配布したパンフレットにあるものです。スマホや携帯電話の使用時間と数学の平均点を関係付けたグラフです。3本の折れ線グラフは、家庭での学習時間の違いです。一番長い学習時間が一番上の折れ線で、一番短い学習時間が一番下の折れ線です。このグラフから、30分以下の学習時間で、スマホ等を全くしない子供の平均点①より、2時間以上の家庭学習をし、スマホ等を4時間以上使った子供の平均点②が低くなっています。つまり、4時間以上のスマホ等の使用は2時間以上の学習効果を打ち消している可能性があるということです。ちなみに一番良かった子供が2時間以上の学習時間で1時間未満のスマホ等の使用時間の子供で。(③の部分)短い時間なら、適度な息抜きになっているのかもしれないと言えます。スマートフォン等の夜の使用を1時間未満にすることが大切です。



このようなことからスマートフォンがなかった時代の子育てでは必要なかったことを、これからの保護者は考えていかなければならないことが分かります。子供のインターネットに関わる時間(ゲーム、ネット検索、youtube、Line、Tiktok等)や使用状況を保護者が把握してコントロールしたり、子供自身がコントロールできる力を付けていったりしていくことが必要となります。買い与えて、任せっきりでは、子供の本来伸ばせる力も伸ばせなくしてしまうのかもしれませんが、そのほか、ネットと友人関係、ネットと子供の健康被害も考えていかなければなりません。買い与えるときは、よく親子で相談をし、家庭のきまりを明確にし、きまりを守れないなら取り上げるなどスマートフォン等による様々なトラブルも親として請け負う覚悟がこれからの子育てには必要です。

